

ネパール クスムカングルー峰 (Kusum Kanguru) 標高 6367m 北稜登攀

1991年09月22日～11月6日 山岳会クライミングメイトクラブ



B. Cからのクスムカングル北面 北稜は中央に落ちるリッジ



北稜岩壁帯



上部雪稜に抜け



上部雪稜のナイフリッジ

9/22 東京発. バンコク ⇒ カトマンズ.

9/27 カトマンズ ⇒ ルクラ (空路). ルクラ ⇒ 10/1 キャシャー谷BC設営

10/2～10/4 休養・順応・北稜取り付き偵察.

10/5 BC (4180m) ⇒ 北稜取り付き (4700m) 仮C1設営.

10/6 仮C1 (4700m) ⇒ 北稜5300m地点C1設営, 物資デポ. 順応前の苦しい登攀.

10/7 C1 (5300m) ⇒ BC (4180m).

10/8～10/11 BC で休養・アタック準備.

10/12 BC (4180m) ⇒ 仮 C1 (4700m).

10/13 仮 C1 (4700m) ⇒ C1 (5300m). この日は順調に進む.

10/14 C1 (4700m) ⇒ 岩稜終了点 B1 (5750m). 厳しいミックス帯で最後は夜間登攀.

10/15 B1 (5750m) ⇒ 上部雪稜終了点 B2 (6000m). 危険なナイフリッジの登攀.

10/16 B2 (6000m) ⇒ 北峰 ⇒ 午前 8:20 主峰登頂 (6367m) ⇒

B2 (6000m) ⇒ B1 (5750m). 登頂後は二度と繰り返したくないクライムダウン.

10/17 B1 (5750m) ⇒ C1 (5300m). 順調に懸垂下降.

10/18 C1 (5300m) ⇒ BC (4180m). 無事帰還.

10/19～10/21 休養・撤収準備.

10/22 BC 撤収 ⇒ 10/29 ルクラ ⇒ カトマンズ (空路).

11/6 バンコク ⇒ 東京 (帰国).

成果：フィックス工作をせずメインロープのみで登下降するアルパインスタイルで、  
登攀メンバー3人全員が登頂した。

クスムカングル北稜の完全登攀は、日本人として初である。